### **【デロイト面接準備】人柄の良さを感じてもらう**

**ゆっくり話す、柔らかく話す**

**なぜコンサル？**

①企業の課題解決を通じて多くの人に利益や恩恵をもたらすことができると考えたからです。私は目の前の人の課題を解決することや他者へ貢献することにやりがいを感じてきたので、コンサルタントは自分に適している職業だと考えました。

（塾での日本語講師の経験）

②若手の内から幅広い分野のプロジェクトに携わることができ、個人の能力や知見を高める機会が多く得られるので、常に困難に立ち向かい成長してきた自分にとって、最適な成長環境であると考えました。

（日本人学生に敬語を教える経験）

→他の会社でもできるよね？（コンサルだけの特徴、事業会社との違い）

その点に関しては、長く1つのことをやる事業会社と違って、コンサルティング業界は3ヵ月または6ヶ月単位で担当する業界、PJが変わっていくので、刺激的で面白いですし、新しいことにチャレンジすることが好きな私に適している職業だと考えました。

➤新しいことにチャレンジするエピソード

　SNSアカウント及び設立

　日本人に敬語を教える（動画を導入する、外国人という立場から日本人に敬語を教える）

**なぜ経営コンサルタント？**

2つ理由があります。

①経営者の方々と直接意志疎通を図りながら、会社全体の改善を進めていくという経営コンサルタントの仕事が、若いうちから経営者と対等に渡り合う機会が得られるため、成長スピードが速いと感じたからです。②多種多様な経営課題に携わることができるため、1つの業界に限らず幅広い業界の知見を持つことができると考えたからです。

**なぜデロイト？**

①横断的に業界を経験することができ、選択肢も多いので、専門性を身に付けられると感じたからです。私は教育関連の実践や経験をしてきましたが、教育という枠に縛られずに多くの業界に関する知見を広めたいと考えております。そのために、御社が最適な環境だと感じました。

専門性➤多角的な視点から物事を見れる、1つの業界に多く還元できる

②御社に人を育てる文化があると感じたからです。OB訪問等を通じて、後輩の話に真摯に耳を傾け、手厚くサポートする御社の社員の人柄、自身の業務に対して誇りを持っている姿が非常に印象的でした。

私が自分の経験を振り返って、どういう時に一番頑張れたかと言いますと、自分に良くしてくれた先輩や仲間の期待に答えたい、あるいは仲間の役に立ちたいというときが一番頑張れたと思います。なので育成に力を入れてくれたファームに対し、恩返しとして長く貢献したいと考えており、その点ではデロイトしかないと考えました。

③御社の社員の方々の人柄に惹かれたからです。OB訪問等を通じて、御社の社員が、若くして幅広い領域で仕事をされていると同時に、自身の業務に対して誇りを持っている姿が印象的でした。また、後輩の話に真摯に耳を傾け、手厚くサポートする御社の社員の人柄に魅力を感じました。

➤何人OB訪問したの？

はい、5人の方にOB訪問しました。

必要であれば（HCユニットに所属されている菅沼さん、SAMユニットに所属している齋藤さん、ET＆Pに所属している井上さん）

**pool志望理由**

はい、共通の軸として、上流から下流まで携われる、専門性を身に付けられるという2点から3つのpoolを挙げさせていただきました。

　その中で、

①HC（Human capital） を志望する理由は、

・御社では国内最大規模の人事・組織コンサルティング部隊を有し、高品質なサービスを幅広く提供していることに惹かれました。

・御社の社員のお話を聞いていく中で、WTの組織ではその人が本来持つ強み、個性と企業とのマッチングを支援することが得意分野だとお聞きしました。こういう分野であれば自分の経験を生かしていけるのではないかと思い、第一志望として挙げさせていただきました。

➤どういう経験？

留学生向けの進学塾での進学指導の経験の中で感じたやりがい

やりたい案件、課題

➤終身雇用の崩壊→キャリアの自律、キャリアパスの再構築

　コロナの影響による働き方改革

　ダイバシティ促進に関する動き

②C&Ｍを志望する理由は、伝統的なマーケティングリサーチだけでなくシステムの構築まで携われるとお聞きしたので、提供できるソリューションの自由度の高さに魅力を感じて、志望しております。

やりたい案件、課題

ECマーケット、グローバル展開

②SAMを志望する理由は、SAMの中のモニターデロイトに興味を持っているからです。戦略案件においては、考える幅が広い点と難易度が高い点に惹かれて、志望しました。

やりたい案件、課題：

サステナビリティ、グローバル展開

　「持続可能性」を意味する英語の"sustainability"のカタカナ表記です。「サスティナビリティ」と表記されることもあります。

　「企業のサステナビリティ」というとき、これは「企業が利益を上げ、将来においても顧客に製品を供給し続けられる可能性を現在において持っていること」という意味です。

**デロイトに入ってやりたいこと／PJ**

はい、御社に入って、HC部門において人の支援や組織改革に関するPJに携わりたいと考えております。例えば、終身雇用の崩壊→キャリアの自律、キャリアパスの再構築、コロナの影響による働き方改革（テレワークによって生じた課題）、ダイバシティ促進に関する動きなどに関する課題を解決したいです。そして、長期的には、1つの業界に多くのものを還元できるスペシャリストになりたいと考えております。

**入社後のキャリアパス**

はい、長期的には、例えば10年後に、市場価値が高く、1つの業界に多くのものを還元できるスペシャリストになりたいと考えております。それを実現するためには、今から5年以内に、プール制を通じて横断的に業界を経験することにより、複眼的な視点から物事を見れるようになりたいと考えております。そして、短期では進学塾で学生を支援していた経験を生かし、人の支援や組織改革に関するPJにアサインされたいです。

**キャリアゴールについて**

#### 業界が再編する時など、業界が経ち替わるような瞬間においてトップ企業群のアドバイザー的な立場に立つ人になりたいです。

どうやって？

①専門性

②長期に渡る信頼関係の構築

**緊張しているのか？**

はい、御社が第一志望ですので緊張をしております。緊張をしすぎないように頑張りたいと思います。（1から10で、6）

#### **なぜ日本語を学んできたのか**

はい。第一志望のフランス語学部に入ることができず、日本語学部に回されたというのが始まりでした。日本語を勉強していく中で日本語の学習が楽しく感じたのと、こうして日本に来て日本語をツールに何か新しいものを学ぶことができているので、結果的に日本語を学べて良かったなと思っています。

➤なぜ楽しく感じたのか？

　はい、日本人の友人ができたので、外国語を通じてコミュニケーションしたり、外国のことを教えてもらったりすることが楽しいです。

➤日本語の特徴はどこにあるの？

　はい、日本語の特徴は話す相手によって使用する言葉が変わる点にあると思います。

#### **日本に留学した経緯**

#### はい、大学時代に受けた日本語の授業の授業デザインや教師の教育観に疑問を感じて、日本語教育を学びたいと思い、日本に来ました。

➤具体的にどんな？

　はい。授業デザインに関していうと、とにかく大学の日本語の授業がつまらないなと思いました。先生が一方的に文法の説明をしたり、日本語の音声を流したりしていました。教師の教育観に関しては、3年生や4年生になってくると、それ以上に伸びることは難しいと先生に言われました。その言葉に疑問を感じて、日本語教育についてもう少し知りたいと思うようになりました。

➤中国だと日本語教育を学べないの？

　はい。中国では、日本語教育が1つの学問として学べる環境がまだ整っていないので、日本のほうが日本語教育の研究などが進んでいるので日本に来ました。

#### **大学院の研究内容**

　大学院では、日本語の発音について研究しておりますが、具体的には、外国人学習者の発音が日本人の方に与える印象の変わり方について研究をしております。例えば、怒っていないのに、怒っているように聞こえる発音の特徴とか、冷たく言ったつもりはないのに、冷たく聞こえる発音の特徴とか、そういう特徴を事前に知っておくことで、本当に伝えたい自分を伝えることができるのではないかと思い、研究を進めております。

➤面白そうな研究ですね、博士課程に進学したいと思わないのか？

　はい、博士課程に進学する予定はないです。理由は2つあります。1つ目の理由は博士課程に進学すると、自分がしている研究だったり、学問を社会に還元できる道のりは非常に長くなるからです。2つ目の理由は早く親孝行をしたいからです。私の母は去年病気で1回入院したことがあるんですが、家族のためにも考えないといけない時がきたなと痛感して、社会に出て家族への責任をきちんと果たしたいと思います。

➤日本語教師になる予定はないの？（自分の研究をそのまま仕事に活かしたいと思わないの？）

はい、日本語教師ではなくビジネスの世界で活躍したいと考えております。理由は目の前の1人だけでなく、クライアント企業を通じて多くの人に影響力を与えることができるからです。日本語教師だと学生1人1人の声を拾うには有効ですが、目の前の人しか見れないという限界があると感じました。そのため、より多くの人を支援できるために企業に入りたいと考えております。

#### **なぜ日本で働きたい**

はい、私はもうすでに日本の生活に馴染んでいて、生活基盤も日本にあるので、日本で暮らしたいという思いがあります。もう1つは、大学を卒業してすぐ日本に来た私を助けてくれた日本人の方々がたくさんいて、その方々がいたからこそ今の私がいると思っていますので、これからも日本を第二のふるさととしてずっと暮らしていきたいと思っています。

#### **学生時代頑張ったこと**

#### はい、日本文化や日本語の発音に関するコンテンツを発信するSNSアカウントを設立し、運営した経験です。周囲の人を巻き込んでチームを立ち上げ、最初の500人のフォロワーを、3000人まで伸ばすことができました。

➤どうやって？

はい、コンテンツ発信の頻度の低さとプラットフォームの制限に課題を感じ、2点施策を打ちました。①仲間を加えてチームを立てようと考え、先輩や後輩、日本人の友人などに声をかけ、計12名のチームを立ち上げ、毎日コンテンツを発信するようにしました。②チームメンバーで話し合い、ほかのプラットフォームでも宣伝しようという案が採用され、音声配信アプリでもコンテンツを発信しました。この案が功を奏し、フォロワー数が3000名を超えることができました。

➤どんな役割？

チーム全体をまとめる役割とコンテンツ発信するまでの編集作業を担当しました。

➤リーダーの役割を担うことが多いの？

はい、誰かをサポートするよりリーダーとして先頭に立つことが多かったです。

例えば、新入生向けの歓迎会の企画や司会を自ら手を挙げてやっていました。

➤一番大変だったこと？

全員のスケジュール管理

➤一番の学び？

私はメンバー1人1人の意見に耳を傾け、尚且つ実行に移すことが、困難を乗り越え、課題を解決することに繋がることを学びました。

**→どういうふうにコンサルタントの仕事に活かせるのか**

多様性のあるチームで成果を上げる力／経験を御社で活かして行きたいと考えております。SNSアカウントを運営する際に、多様な国籍や価値観を持ったチームメンバーがいました。チームメンバーの新しい発想から学び、成長してきました。コンサルタントは様々なクライアント企業とお会いし、また各分野の専門家とともに働く機会が多くあるため、御社で多様性のあるチームの調和やダイバシティへの対応に貢献していきたいと考えております。

#### **コンサルタントに必要な素質**

①情報収集など地道な努力を怠らない忍耐強さ、泥臭さ

②お客様の背中を押す時に、気持ちよく行動できるようにする創造力

③根本的なところから考える思考力、それをお客様に伝える言語化力

**これからもコンサルタントとして生きていきたいのか？**

一生コンサルタントとして生きていきたいかというのがまだわかりません。まだそこは考え中ですが、そこに向けて10年後自分が専門性を持っている状態に向けて御社で一生懸命励んでいきたいです。

**配属が通らなかったらどうするのか？**

はい、まったく問題ありません。理由は２つあります。

1つ目は自分は教育業界にずっと携わってきているので、むしろ全然違う業界に配属されたほうがシェアが広まると思います。

2つ目は他のユニットのPJも、会社のサービスラインを理解するうえで大切な要素であり、会社の流れや全体像を把握する機会でもあると思います。なので、高いモチベーションを持って仕事と向き合うことができます。

3つ目は、人事の方々は様々な学生を見てこられたので、適材適所に配置することを考えられていると思います。なので、自分は配属された意味を見出してどんな仕事でも期待値を超えるように意識して仕事をしていきたいと考えております。

#### **就職活動**

去年の秋までは業界を幅広く見ていましたが、現在は様々な業界を相手に仕事ができるコンサルティングファームを中心に就職活動をしています。その中でも戦略策定から実行支援まで携われる総合コンサルティングファームを志望しております。

現在、御社とPwCさんの選考を受けている状況です。PwCさんはケース面接を通過して、1day jobを控えております。

中でも御社のPJの大きさや幅広さ、そして若い世代に対するpoolユニット育成制度が特に飛びぬけていると感じているので、採用していただいた際には、御社に入社すると心に決めております。

**就職の軸（企業を選ぶ上で大事にしていること）**

①顧客に近い立場で課題解決を通して他人・社会に貢献できる点

②個人の成長を大事に扱ってくれる点

③グローバルで風通しがいい職場である点

#### **他社の選考状況**

PwCコンサルティング合同会社さんの選考を受けていてケース面接を通過した段階ですが、御社が第一志望です。

**内定はもらっているのか？**

はい、他の会社さんから内定をいただいていますが、御社が第一志望です。御社から内定を頂けましたら就活を終えたい気持ちでここまで頑張ってきました。

**自分の強み・弱み**

➤強み

①はい、私の強みは信頼構築力です。学生時代に進学塾で留学生向けの進学指導を行う上で学生との信頼関係を構築することを大切にしました。例えば、学生の悩みや不安を解消するために迅速な対応体制や具体的な説明を心掛けていました。

相手の声に真摯に耳を傾けようとする姿勢が、強い信頼関係を構築するには重要な役割を担っており、その姿勢がさらなる課題の解決に繋がることを学びました。自分の信頼構築力という強みを生かして、御社でも活用していきたいと考えております。

②はい、責任感が強くリーダーシップを取るところだと思います。

大学時代にSNSアカウントを立ち上げ、日本文化や日本語の発音に関するコンテンツを発信しました。最初は1人でやっていたのですが、12人のチームを立ち上げてフォロワー数を500人から3000人まで伸ばすことができました。主体性を持ってチームをまとめるリーダーシップという強みを生かして、御社でも活用していきたいと考えております。

好きな日本文化はある？

　着物文化。

➤リーダーシップとは？

　当事者意識を持って、周囲に協力してもらいながら、目標に向けて頑張ること

➤弱み

人から頼み事をされた際に、断ることが苦手なことが私の弱みです。私は進学塾で留学生向けの進学指導を担当した際に、多くの学生を任されたことがあります。その当時は今よりも断るのが苦手でアルバイトばかりに時間を取られてしまい、学業などが疎かになった経験があります。その経験から、効率よく物事を進めるために、周りとのコミュニケーションをさらに大切にするようにしました。御社でも周りの人とコミュニケーションを取りながら確実に1つ1つの業界に携わっていきたいと考えております。

**一番の挫折経験**

練馬区の区役所が主催する日本語教室でのボランティアの経験です。私が担当する子供の中に上海出身の子がいたんですが、私が話しかけてもまったく返事してくれなかったです。なに勉強しようかとか、算数やりたいとか、全く返事してくれなかったです。そしてそこの先輩ボランティアに聞いてみたところ、その子が沈黙期にあって、一見話さないように見えても本当はちゃんと周りを観察していることが分かりました。そこで私が取った施策は、その子が安心できる中国語で話しかけること、あとはゲームを設定してほかの外国人の子供と仲良くさせることでした。最終的には、「お母さんが来るまで一緒にいてくれる？」と言ってくれて、私としては大変嬉しい経験になりました。

**英語の能力について**

はい、英語に関してはまだビジネスレベルに達していないのですが、私は日本語、韓国語などの語学学習の経験があるので、頑張って英語の学習にも励みたいと考えております。

**今後の英語の学習に対する意識**

はい、グローバルファームで働くとなると英語は非常に重要になってくると考えます。そのため、英語学習に励み、英語力が必要となるPJにアサインできるぐらいのレベルまで達したいと考えております。

**他に見てる会社はあるか（PｗC）**

　競合との違いはどこだと感じているか、同業他社の印象

　①big4というより、ベンチマークとして見ているのはBCG、アクセンチュア、pwc。EYやKPMGだと日本市場がまだ小さい。

　②規模として日本では一番大きいし、マーケットもbig4の中で一番大きい。いろいろなバックグランドを持った方々が在籍するから、在籍するメンバーの知見やこれから経験したPJの経験においてアドバンテージを持っている。

#### **最近気になるニュース**

コロナ禍の働き方改革　若手社員の育成が心配

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA1055D0Q2A310C2000000/>

キャリアの自立化　日立製作所　社員全員ジョブ雇用

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC2431B0U2A120C2000000/>

ジョブ型雇用において求められるのは、あくまで「決められた範囲内の業務を滞りなくきちんと行うこと」。企業はジョブの束であり、採用時に一つひとつの束の値段（＝給与額）が決められています。

「ジョブ型」雇用とは、企業が人材を採用する際に職務、勤務地、時間などの条件を明確に決めて雇用契約を結び、雇用された側はその契約の範囲内のみで働くという雇用システム。そのため別部署への異動や他拠点への移動、転勤はなく、昇進や降格も基本的にはない。

日本ではジョブ型雇用を指して「欧米型の雇用システム」と表現するが、欧米だけでなく世界的に見てもこの「ジョブ型」雇用がスタンダードであり、職務を限定せず新卒で正社員を一括採用する雇用システム（メンバーシップ型）は日本独特のものだという。

#### **逆質問（大変勉強になりました）**

#### ・コロナの影響を受け、働き方が変わったことはありますか。

・OBOG訪問をさせていただいて、社員の方々の成長意欲、プロ意識が非常に高いと感じました。その中でも凄いと思ったのは、新入社員の頃とか入社したての頃って、そういう気持ちは当然あると思いますが、それをさらに上昇したり、維持したりするのがすごいなと思いました。〇〇さんが自分の成長意欲を維持するために、プロ意識を高めるために普段やっていることはありますか。それとも自然とできるものでしょうか。

・新卒の頃と今で考え方が変わりましたか。

・お話の中で〇〇系をずっとやられていたというお話があったんですが、コンサルで1つの業界に長く駐在することって結構レアケースなんですか。

・なぜそこの業界のコンサルをしようと思ったんですか。

・〇〇さんから見て伸びる若手コンサルタントの特徴

若手のコンサルタントにとって重要な姿勢はどのようなものか

・コンサルタントとして、日々の自己研鑽が欠かせないと思いますが、〇〇さんが日々心掛けていることがあればお聞きしたいです。

・実際に働かれる中で感じたデロイトの特徴はどのようなところにあると思われますか。

　実際に働かれる中で、コンサルタントに必要な資質をどう感じるか

・色々なキャリアを積んでこられたと思うんですが、最初に経験したPJはどんな案件ですか。

・パートナー、業界の第一人者という立場に立って、まだまだ高みを目指しますか。

**OB訪問内容（抜粋）**

デロイト志望理由：

企業の経営難題に立ち向かうため、最初の育成機関が大事。いきなり現場に放り出されるよりも研修制度が整って、pool制度もある所が優れている

いろいろな業界に携わることで自分の興味を広げて20年とか、転職のフェーズになった時に自分のやりたい業界が決まっていればいいなという感じ。

面接でどこに配属されるかわからないから、教育系PJに配属されるとは限らないけど大丈夫？

教育業界を選ばなかったのは、教育業界にずっと携わっていて、学校からでていないから、物差しが狭いままって言うことになるから教育以外の業界を受けている。むしろ全然違う業界に配属されたほうが好ましい

前回の面接から本日の面接の間に色々と考えたんですが、自分の研究（こういう経験）がこういうところに活かせるじゃないかと考えた

面接の空いた期間に考えさせてもらったんですが、お話を聞いていく中でこういうPJもあったりして、こういう分野であれば自分の経験、研究内容を生かしていけるのではないかと思っています

　3次面接でこういうことを申し上げましたが、最終面接の間に改めて考えさせていただきました。実際に御社の社員の方々とお話をしていく中で、こういう話を聞いてこういうところにすごく魅力を感じました。

**一生コンサルタントとして生きていきたいかというのがまだわかりません。**

**まだそこは考え中ですが、そこに向けて10年後自分が専門性を持っている状態に向けて御社で一生懸命励んでいきたいです。**

**色々な社員の方々と話をしてきた中で、○○がより明確になりました。**